



報道関係者各位

茨木高校関係資料の市指定有形文化財指定を記念したテーマ展 「旧制茨木中學校—近代教育の軌跡—」を開催

茨木市立文化財資料館（茨木市東奈良三丁目 12-18）では第 41 回テーマ展「旧制茨木中學校—近代教育の軌跡—」を 10 月 18 日（土）から 12 月 22 日（月）にかけて開催します。

大阪府立茨木高等学校は明治 28 年（1895 年）に大阪府第四尋常中学校（のちに茨木中学校と改称）として開校し、令和 7 年（2025 年）に創立 130 周年を迎えました。同校には明治期からの希少な学校資料が数多く伝来し、本年 8 月に「茨木高校関係資料」として茨木市指定有形文化財となりました。本展示では、開学より現在に至るまで大切に保管されてきた資料から旧制茨木中学校の軌跡をたどります。

旧制茨木中学校は、初代校長加藤逢吉や天坊幸彦ら教育熱心な教師が教鞭をとり、ノーベル文学賞受賞者の川端康成やジャーナリストの大宅壮一らを輩出しています。また、杉本傳教諭の指導によって、水泳王国茨中が築かれるとともに、学校から能勢妙見山まで夜間に歩く妙見耐寒夜行軍が始められ、現在も続いています。

旧制茨木中学校時代の資料は、教務・会計・授業・学校運営・生徒生活などの内容があり、明治から昭和期の旧制中学校の教育について知ることができます。加えて資料の中には、明治期からの実験器具や標本等もあり、文理の様々な分野の資料が含まれている茨木高校関係資料は近現代資料・学校資料として大変豊富な内容を持った、全国的にも極めて貴重な資料群といえます。

本テーマ展を通じて、茨木の地で展開された近代学校教育の歩みをご覧くださいませ。ぜひ取材・撮影にお越しください。

■テーマ展の概要 ※詳細は別添チラシのとおり

展 示 名：第 41 回テーマ展「旧制茨木中學校—近代教育の軌跡—」

開催日時：令和 7 年 10 月 18 日（土）～12 月 22 日（月）、午前 9 時～午後 5 時

休 館 日：毎週火曜日

入 館 料：無料

会 場：茨木市立文化財資料館 1 階展示室

当日取材等をご検討いただける場合には、お手数をおかけいたしますが、事前に下記の問合先までご連絡をいただきますようお願いいたします。



次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。

【本件に関する問合先】

茨木市教育委員会教育総務部歴史文化財課

茨木市立文化財資料館 電話：072-634-3433